

女性の社会進出のための男性の家事・育児等参画推進事業 ～未来のカジメン・イクメン育成等事業～【鉾田市】

地域の実情と課題

本市において平成29年度に実施したアンケート結果では、継続就業を希望する女性が多くなってきているものの、そのためには「家事等との両立が難しい」ことが大きな障害になっていることがわかった。

働く女性の活躍推進を図るには、その障害を改善していく必要があり、そのためには 男性の家事等への参画について、男女ともに若年層のうちから意識醸成を図っていく必要がある。

事業の特徴

①若年層男女向けセミナーの開催

「働く女性の活躍推進を図るためには何が必要なのか」という事について、若年層の独身男女を対象に実施した。今回は、結婚をまだしていない人に対して意識を持ってもらうため、若年層の独身男女を対象を絞った。

②講演会の開催

PTAと協力しながら、子育て世代のパパママを対象に実施した。女性の社会進出に際して障害となる「家事等」について、男女が共同で取り組んでいくことの重要性について講演いただいた。

事業の効果

①若年層男女向けセミナーの開催

家庭生活における男性の家事・育児等への参加についての理解度

【目標: 70%以上 実績: 92.3% 達成率: 131.9%】

②講演会事業の開催

男性の育児参加等についての理解度

【目標: 60%以上 実績: 96.9% 達成率: 161.5%】

○当初の目標(アウトカム)に対して、高い達成率となっており、実績値で見ても高い効果があったものと考えられる。

目的・目標

①若年層男女向けセミナーの開催

既存の「家事は女性がするもの」という意識を改め、男女がともに協力して家事等に取り組み、女性の活躍の手助けとするため実施。
目標… 家庭生活における男性の家事等への参加の理解度(70%以上)

②講演会の開催

働く女性がより活躍できるようにするためには、家事等への男性の協力が不可欠であることを、市のPTA連絡協議会等と協力しながらパパママ意識付けを行う。

目標… 男性の家事等への参加理解度(60%以上)

連携団体

・鉾田市出会いサポート推進協議会

(農業委員会・商工会・農業協同組合・女性連絡協議会・まちづくり団体・青年会議所等)

・男女共同参画計画策定委員会

(議会・商工回・保育所父母の会・大学講師・自営業者・経営者・大学生等)

今後の課題

それぞれの事業の方向性については、事後アンケートの調査結果等から間違っていないものとする。しかし、今年度初めて取り組んだ事業であり、市民全体への周知という側面ではまだ足りていないのが現状である。引き続き講演会等の事業を実施し、女性活躍推進に向けた意識醸成を行っていく必要がある。また、アンケートから「子どもたちにも聞かせてあげてほしい」等の意見もあったことから、中学・高校生への事業拡大も行い、女性活躍推進意識の醸成をより幅広く行っていく必要がある。

事業の概要

①若年層男女向けセミナーの開催

タイトル:「未来のカジメン・イクメン育成セミナー」

講師: 安達和子先生(第1回～第3回)

竹内夫妻・石田夫妻(第2回)

ゲスト: カミナリ(竹内まなぶ氏・石田たくみ氏)(第2回)※本市出身

☆第1回: 幸せな未来のために今を考える(H30.1.26開催)

・「幸せな未来」について参加者らに講演したのち、日常にあふれている家事についてグループワークで考え、自分に出来そうな家事を見つける取り組みを行ったほか、アイロンがけ体験などを行い実際に家事に触れた。

☆第2回: 家庭料理の実践(H30.2.4開催)

・実際に簡単な料理を体験することにより、料理への抵抗感をなくすと共に、講師にお笑い芸人のカミナリとそのご両親を招き、家族で家事に取り組む様子を参加者らに見てもらった。「幸せな家族のひとつの形を見ることが出来た」等、家族で分担して家事を行う姿に好意的な意見が多かった。

☆第3回: 幸せに過ごす未来のために(H30.2.9開催)

・標記テーマについて講演を行ったほか、実際に妊婦体験や赤ちゃんのおむつ替え等の体験をとおり、子育てへの参画について考えるきっかけづくりを行った。

○総括

・参加者の満足度は高く、事業実施の効果は十分にあったものと考えられる。
今後も女性活躍推進に向けた事業を広く展開していく必要がある。

②講演会の開催

子育て世代の男女等対象(H30.2.23開催)

タイトル: 笑って考えよう 家庭のこと・仕事のこと・未来のこと

講師: 瀬地山角氏(東京大学大学院教授)

・東京大学大学院教授でジェンダー論について研究を行っている瀬地山角氏に講師をお願いし、主にPTA関係者(子育て世代の男女が中心)を対象に実施した。男女が協力して家事等へ取り組むことの重要性や、次の世代(子どもたち)に対して、幼少期からの意識付けが将来的に男女が均等に活躍することにつながる、ということについて講演行われた。

○総括

・参加者の満足度は高く、「妻に家事を任せきりになっていた事に気づかされた。家事の分担について考えていきたい(男性)」等、当初の目的を十分に達成できたものとする。引き続き、市全体での女性活躍意識の底上げのために事業に取り組んでいく必要がある。



(左上)第1回の様子
(右上)第2回の様子
(左下)第3回の様子

